

平成 31 年度 理論政策更新研修テキスト執筆者募集

中小企業診断協会では、平成 31 年度理論政策更新研修のテキスト(次頁「募集テーマ」)の執筆者を、都道府県協会会員の皆様を対象に広く募集いたします。

中小企業診断士向けの研修テキストですので、執筆者はテーマに関する専門性、クライアント等への支援”力“を兼ね備えていることが前提で、目まぐるしく変化する経営環境に対応した、最新の専門的知識の補充に資する内容を期待しております。

なお、執筆者の選定にあたりましては、「テキスト執筆者選定委員会」にて別紙の各テーマにつき 1 点を選定いたしますが、同委員会にていずれのご提案もテキストとしての水準に達しないと判断した場合には、当該テーマのテキストは作成しない方針です。

会員の皆様からのご応募をお待ちしております。

【募集要領】

次頁の「募集テーマ」の中からテーマを 1 つ選び、下記の②記入項目に沿ってお書きいただき (word 形式)、試験・登録機関事業部 (rironkenshu@j-smeca.jp) までお送りください。

その際はファイルにパスワードをかけ、パスワードは別メールでお送りください。

- ① 応募資格 都道府県協会の会員(企業内診断士含む)
- ② 記入項目 記入要領・応募枚数は特に定めません。
 - 所属地区協会名 ○執筆テーマ名(内容は募集テーマが基本)
 - 名前 ○登録番号
 - 所属・役職 ○住所
 - 電話番号 ○略歴
 - 原稿の構成(目次等)、要旨(焦点を明確にしてください)、サブタイトル
 - テーマに関する指導実績、著書、寄稿、講演等(直近 5 年以内の実績)
 - テキスト作成上の工夫(視点:プロコンとしての実践的内容、掲載する支援事例、演習課題、テーマに関する時事キーワード等を明記してください)
- ③ 応募期限 平成 30 年 11 月 12 日(月)
受信後、確認メールを差し上げます。応募書類送信後 2 営業日を経過して確認メールが届かない場合には、協会にご連絡ください。
- ④ 選考結果 平成 30 年 12 月中旬に各応募者に選定結果を文書にて連絡します。選定された方には、所定の執筆要領に基づきテキストを執筆していただきます。
 - ・原稿枚数 20 枚～30 枚程度(A4 版 1, 200 字/1 枚)
 - ・執筆期限 平成 31 年 2 月 8 日(金)
- ⑤ 謝金 8 万円(消費税込) 選定された方にお支払いします。

【お問い合わせ先】

一般社団法人中小企業診断協会
試験・登録機関事業部 菊島・福地
電話 03-3563-0851
Email rironkenshu@j-smeca.jp

【募集テーマ】

テーマ	ねらい・内容
①中小企業のIT利活用支援	<p>中小企業では、生産性向上を目的としたIT利活用への取り組みが期待されています。</p> <p>ITを導入するうえでのセキュリティや業務の見える化などの課題を克服し、ITを効果的に活用して生産性を向上させるための支援について、事例を交えて研修します。</p>
②中小企業の海外展開支援	<p>人口減少による国内需要の先細りが懸念される中小企業にとって、海外需要の獲得が求められています。</p> <p>中小企業が海外に進出し、継続して事業を展開していくうえでの課題や必要な支援について、事例を交えて研修します。</p>
③中小企業の事業承継支援	<p>中小企業・小規模事業者にとって、後継者不在からくる休廃業が深刻な課題となっています。</p> <p>経営資源を次世代に引き継いでいくための円滑な事業承継支援について、事例を交えて研修します。</p>
④中小企業の人材活用・育成支援	<p>人材の確保が難しい中小企業にあって、ダイバーシティの推進や多能工化、兼任化への取り組みは、新たな視点の獲得や業務の効率化にもつながり、生産性の向上も期待できます。</p> <p>限られた経営環境のなかで生産性を向上させるための人材活用・育成支援について、事例を交えて研修します。</p>
⑤地域資源を活用した中小企業支援	<p>人口減少や高齢化による影響が深刻な地方経済にとって、地域資源を活用した継続的な取り組みが期待されています。</p> <p>地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、販路開拓等の支援について、事例を交えて研修します。</p>
⑥中小企業の知財戦略支援	<p>中小企業が研究開発等により得た技術力を、企業競争力に転換するための知財戦略が重要になっていく一方で、十分に経営資源を投入できない実態もあります。</p> <p>中小企業の事業戦略を踏まえた知的財産の戦略的活用支援について、事例を交えて研修します。</p>
⑦ローカルベンチマークを活用した中小企業支援	<p>経営者との対話が重要な中小企業支援の現場において、対話を深めるための入口のツールとして、ローカルベンチマークの活用が注目されています。</p> <p>ローカルベンチマークを活用した経営者との対話の手法や、そこから得られた情報を有効に活用し、いかにして中小企業支援につなげていくのかを、事例を交えて研修します。</p>